へ利9
3869
41

3869

大正七年三月寄贈
室井平藏氏

當時世上一流誹諧をん
人をたふらかし邊をかたき邊中
ちうちはなんも知らぬ雑俳の
四方の下手季字かき俳と同
らして前の句俳とのまる
いやしきとせきうる呂一句ふ
風雅とふまぬ宗匠と

弄醒山人 述

故不問翁の溢勝しろ
其外ハ子よめたくある事を
たとへし誹諧の九々八算とや
云ん算子立天元の術迄も
正負を用ひて算盤ふのる
除るにひらしくさし負ひも
連击に勝ふ利の妙を顕し
よりて負勝ふらすこさぬハ
古く其外の道有り

松の言 名を嫁入つくる奴
徐也祥 女夫に去るハ勝しハ惑

梅花

用心のよい悪いやつ
ゑもゑゑ似て他人
柳を雪の日も柳

枇杷の花

葉冥人形

さくら花ちる余所の雪
葉の陰るも面影の紅

針箱誘

村雨

毛剛史立

ちるさくら鶯きめ不
よい程こそ玉を抱

一時生

雪生葉

てゐるゑゑ逢ハぬ毎
胸焦のゑゑの恋

柘榴

牡丹

菌も有ゑゑ君文
弱い日つきゑ信ゑ風

陽の秋

雪信ゑ

ちゑ下を焼て安寝

あるものゑ正流の今ゑ
ゑて高ゑも六義詩へし
ゑゑゑ梅ちゑ花よものと
ふ身中成のゑゑ孔先ゑと
味ゑゑゑゑゑと高ゑふ

かけて知ゑ
月笑もあり岳猪月

実法十一未ゑ葉月

丈夫菴一樹

評者

長挿坊可亭

三万堂馬面

保銀菴三紀

窠花屋錦之

桐芽葦曲坡

花表鄰東志

其綾糸冠隆

五冠葦麥雅

静々葦鶯路

管弦糸素図

深州坊五嶺

一滴舎楚道

丈夫葦一樹

明翁嬉

呉綾糸群女

我ト

枕班

我ト

素寛

我ト

素寛

形門

我ト

巷帆

仝

紀水

殿の殿さまの舞　庁風
約針をうまく仕て舞ふ　素答
能永能イで又ふり上げ　紀水
段取を持つまさかゆ子　松キ
是は唐る大仏蓋　震舟
殿の礼式殿様　紀水
殿様きて礼が上る　素答
為ちと法ふ陽を宮ぶ　震舟
仏母の陽ふ屋も迷ふれ　松キ
あ屋の使ふ猫人選ん　紀水
皆語常ふ赤の風　仏笑
るる肩衣仏の垂　一九

張の如くし山ふつ　素答
人まいふ拝ふる吹ふ　祝祝
彼ふ天皇の古気　旦和
変笑で拝ふを目鏡　全
拝来拝ぐ又ふ変ふ　大枝
善く選ふ知ふ株梁　素答
元祖の法の初ふ上座　旦和
神の山家ふのに吹く　素答
貴ふるふまふ橋ふ角ふ　旦和
的作ふ習ふる体墨形ふ　梅祝
今い猪投込ふ近ふ　統廃
仮意さお山や意ふ　我卜

俳の衣名の井の蓮花　我ト
後来ハ止メめぢ　紀水
私の新しく九ひろ　既南

浄札名

姑と云て月夜ろ　素名
柳の生て夜ふる　一九
夏で寝ぶ母中の庭　我ト
他のそしりを村柏　仝
ぬぐらの名の味噌　一九
面を通して汗よ流し　連帆
夜風の方の名ハ紫　麦九
三人が祇園の連　有秀

耳も家和ゑこをさ　連帆
坊とかい中ぷりかぶいの　素名
鶯花番花行の気ふ　行風
鶯用ふとつくると春　素冥
ふ様で踊ると笑ふ　孝俊
除ミこして乳ぶふい　素冥
鶯ふ和歌ハ名ふ　仝
ふ雪月雪て新ふの　我ト
父ハ社日の酒ふを　素冥
望発冬の内陽ふ　旦和
耳ふ名く秋と云く　仝
穴吉ヤ乾坤の名　素冥

[illegible]ものも[illegible]ぬ富貴　迷帆
[illegible]の中世[illegible]　素寒
[illegible]の[illegible]の百　似笑
[illegible]の枝[illegible]の[illegible]　素寒

日本史記

[illegible]の梅　除[illegible]　[illegible]　孝俊
けしもはしめて[illegible]　我ト
狂の[illegible]若[illegible]の筆　素寒
市中[illegible]戸[illegible]　有秀
[illegible]　三江
梅[illegible]　海の[illegible]　麦丸
[illegible]の古人ト[illegible]　似笑

[illegible]　麦丸
武[illegible]あ[illegible]　極新
[illegible]の味[illegible]　一丸
[illegible]　似笑
[illegible]　素寒
枝[illegible]　千メ
花[illegible]　我ト
[illegible]　素寒
[illegible]の梅
[illegible]　素寒
[illegible]　孝俊
[illegible]　迷帆

文も笑ム業を致の後　素宮
たつ〳〵二字ものく中廟（モノイミ）　一九
きゝ〳〵るの天二宮のふ形　素宮
五ゝ後ゝべさの友と碎　仝
昇下を不足の現意出寺　麦九
火で鞭を打ッ鏡る音　素宮
出ゝ〳〵の仕ゝ足ひぶし　行風
飛地をふ立ゝ〳〵ゝ　素宮
みんぞんさ大すの根　仝
義〳〵後仕い毎ぶす形門
又無めゝふ歩を持　素宮
傳ケゝゝまやあい後　走帆

ゝゝ高ゝゝも後ゝ到　仝
紙路（デッカク）物さいふ品の帆　行風
後ゝゝゝめゝ家楽し　走帆
齢ひ形ゝさ之のぶ長　素宮
角形ゝゝゝ今書く　旦和
皆内ゝめ当盗舎　素宮
ゝゝふ服の体ゝ沖のあ　仝
貸〳〵帆ゝ階ゝ大住ゝ　旦和
茶ゝゝ
ゝゝゝ夫婦連　戸ト
下ゝ〳〵を足ゝて毋の仕　走帆
義のゝゝ寺永く武士　素宮

花を売る　錦工合　志忙
京ゑ　鉢ゑ　京ゑ　赤ゑ
遊ゑ　行ゑ　ゑ　ゑ　赤ゑ
るで　脚ゑ　ゑ　ゑ　女ゑ　麦九
ゑ和ゑ　曲　脚の　鉢ゑ　赤ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　面　ゑ　脚角　日和
生ゑ　の　杉
紙料ゑ　ゑ　ゑの　大工　日和
行　いゑの　ゑ　ゑ　ゑ　ゑの　桃祈
ゑを　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　赤ゑ
押入ゑ　二階　桜　ゑ　紀水
ゑを　ゑいと　ゑ　ゑ　ゑ　麦九

俗ゑ　ゑじゃ　ゑ　ゑ　ゑ　我ト
ゑゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　赤ゑ
葉ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　迷忙
かゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　桃祈
何ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　チメ
氣ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　杉門
ゑ孫
ゑゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　我ト
ゑゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　杉門
ゑ孫　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　日和
ゑゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　我ト
ゑゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　桃祈

地獄の苦海なる極楽
本へ別るゝ一角我ト
悔ん中なるふい悔拙
裏の中を繰つる一部千メ
苦へ修めく孫ら実迷帰
徒の身を之美男なる孝仕
為の乳知つたり油断迷帰
おしろ隈さ牡州の生行風
有絵京鬼会を作解似笑
死を忘るゝ辞世松キ
年が寄りやめを絵り一九
佛壇の横手引年慶舟

恨みの枕月へ誓へ我ト
修めるる玉牛と号似笑
寺合行くし高れめや仝
形きめ多る福男仝
修へあの仏一極素写
夢没ゆて寄る拍仝
那ナバ美婦の詠宝中仝
礼を及りあ喧ま寄れ仝
強るの危を思ハ喧ぶ拍旦和
多ゑ美ゑこがれ詠素写
金験へ入ら素乃実旦如
青の拍ふハ験も迷外扉

男色の作法ハ一九
拾女乃年ハ武家の雑　素堂
百味すりまぜふるゝ一茶　桃雅
手酒吸しを添て配剤　素堂
夢ゆめを別れの初りゝ　似笑
佛壇ゝおしてゝ長さ　純房

村竹

純京のふるめるゝ簪　旦和
市場ハ上ったる敷物　仝
男のなりぬ鳥業す　素堂
寺号ゝ来てゝ長ゝ　我ト
徒ゝ場ゝの結ゝ指　芭帆

鉢巻の結ハるゝ　素堂
赤ゝ蓋ゝ来る仙家　我ト
結るゝて佛ハ菓子　旦和
供を送ん行ゝ　我ト
夢ゝ体ふゝ仕舞　麦九
以ゝの二階住ゝ　素堂
場でゝれば社笑ゝ　芭帆
京の続て乃姓　麦九
ゝ地ゝ長ゝ正面　素堂
文銭ゝ牛てゝ生ゝ　仝
ゝ長ゝ事ゝ和　我ト
牛のつゝぶゝ酒屋　桃雅

孝ふ一枝を折て白雪の
松き
故女を地獄に堕ふ鬼
似笑
ふを恥の偽強し
仝
陸奥ふ矣ふ
桃強
再郎の新ふ
旦那
妖人ふ為て名ふ言い
一九
為二人武家の
表家
強撫ふ
実ひ人ふ
旦那
ふ為ふ
表家
為て誕生
仝
為の月ぶ
初なふ
仝
俗地の新ふ
俗能
全
信ふ者ふ
ユミ
全

狐を追ふ信が恨し
孝伝
十ふ為盤ふ撫んぶ遣ふ
麦九
狐ふ為ふ親ふ
の
狸
表家
ふんふ言ふ
雪ふ枠ふ
の
表
老帆
桃強
言のふふ
ふ
秋の
の供ふ
ふ
千人
生花
ふ
似笑
為盤ふ枠ふ
の
年ぶや
紀ふ
周ふや
ふい影
我ト
桃強の
ふ
表家
正也ぶ
ふ
の伯
千人

ちも点でいたい無花　麦丸
寺ん坊国ろ法花俳　小川
入梅さ入るはよ雨る　梅雨
庵りや寺ぶ地を踏ぶ　杉門
情さく出せばるの梅　梅雨
きを報蛙るの叫　紀水
傷ろ気ひ弱投る　杉門
重の陽ろ　桜川　素冥
咄しとよろが歩　杉門
ろも高れ飯お梅　芝帆
弁の出来俳を雨る　千メ
鞠かり

糸瓜の味ちを丈の情　麦丸
同系と柳木は似る　旦和
荒ハ新同ろ赤例　梅雨
茗荷（イモ）茗ろ陽ふ悔俗教し　仝
俳つくろ桂新　素冥
稲ろけ春

皆信ヵすな高い坊主　似笑
浸んで芋ひは一り砂　素冥
去原の女則毎云武去　我卜
表你の陽ふ俳ぐ　冬夷
新房ふ芋ろかは根の毒　震舟
仏種がろ蓮行ろ　素冥

和しぐる
廣瀬玉乃井分老帆
下白ふる枝接ぎ我ト
おぶぐろうぶ彩の素冥
冬弱き枝しつをい方 松柳
青接で活を えんぶ 右秀
如流男庵
氏神の名を皆苗字秀
世をあぎ多系の姻愛と和
を表今什和と多 素冥
毛の飛活て紙ふ 仝
此ふ陳る

此ふつうやと幸の毛 我ト
樹ふる 枝ふる 張ル 素舟
定めしくと 完部 我ト
愛を 活ふ 繊ふ 素冥
廣ふる 繊ふ 嶽ふ 教 千メ
多の系を 呑て 陳る 素冥
高ル さ 活ふ 部を 活ふ 部ト
栗くで 光 体の 地雷大 毛 咲
陸ふて 陳ふ 素冥
為せぶ 和 素冥
飾くふ 陳ふ 一 遠 似笑
惜ふ 表ふ 多 多九

糸取り之味

麻くりめやすの事　一九

陰る物ゝ色なしの事　老忙

稚懐中近化を奪ふ　赤冠

糸弱所不くぬいの事　方秀

鶴の羽くさめ　一九

思ひ寄て張る近く　千メ

沼のゝくいおきいれ家　桃花

梅斗ゝ　我ト

乳弱い糸ゝ寄やべる　一九

優んで学ゝ人と猿ゝ　老忙

物ゝ学ゝ　子路

ゝアも下紙で書ゝ家　千メ

竹流び物ゝ　方秀

蒜ゝ　赤冠

張ゝ丁ゝ仕て人の者　今

白粉ゝ

ぬきい髪ゝ久ゝ　振　老忙

染ゝ　機　遠の示ゝ　杉門

年ゝ月や人形杉表　我ト

ゝ桜ゝ　麦九

家ゝ　我ト

みやゝ　仕ゝ　卯庵

桜つゝ　仕ゝ　赤冠

衣が仙今しまうま　同　素盞
嬉うま恋ふ水の　仝
冥加えあれば　三切
小狐がお稲を　手踊
夏の初ぶを流す　看板　仝
勝々を行つ　笛の音　素盞
今い奥田の　神前　一九
あらうう孤うま一人　き帆
ふうう伝うま　上　素盞
見れば今くの　歳　桃花
ぶうう　桃花
解く　撃ときうの　千メ

蔵弾やう名の　紅葉の　仝
光陰い矢の　遊来る　汗風
内義如是　松き
信川の　男ふ　千メ
二ふ多の　人ふ　仙矣
眠ふ風名　素盞
音信ふ　有秀
福伝ふ　千メ
紙を載つ　紀水
上い陰ひう　桃花
ふい風の入し　素盞
蛍下地

容ハ物ゝ[illegible]大病　千メ
初而冷ひ殺すハ宿　素冥
妄の風を塔ちまハ美　我ト
如来ゑや[illegible]ゝ惜て[illegible]ィ　紀水
美で切今ふ[illegible]と寔　一九
犬の[illegible]花ガ人ゝ惜　杉門
たつゝ一度ガ大懐　素冥
俗の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　仝
[illegible]で今[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　仝
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　仝
花の歌ガ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　且和
日[illegible]ゝの[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　松キ

旅宿

同ニナド鋪る角の色　芭阮
小車の除ゝ和ッ日　我ト
元祝しの拍ゝ奴ハ中　杉門
仮名で云や何とふの　千メ
姫をふゞる相なゝん　素冥
素指女ハ名ガ[illegible]　片風
安ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　芭帆
木の[illegible]　素冥
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　仝
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　桃雅

新米相

入峯らう信心ち　素覆
一度と　舞くに　我ト
ゑして　古義　純らの　日和
文殊の中ま　舞剣ら　紀水
義で十徒ら　仏金　素覆
信ちも　憂メぬ　舞の　仝
内義の節ま　上ら猫　桃荘
ちるれまやあり　撫ひ出す　紀水
蓄ら彩ら

のつらり　舞を　舞ちり　桃荘
順ちる　酒屋　舞ら　日東
義ハ日のち　内　桃金　千メ

見の後ハぬ　舞ち　孝役
伏見ハ　桃の　壁山　紀水
蓄ち　で名ちい　ふの名　桃荘
嚢中　壁　神饌　外屋
松の　ち
日の出の　舞ま　強ち　素覆
桃ち　鉦と　ハ陀　袋　有秀
獅　茶ち　寺の門　行風
ちつけて　知ら　ちの　麦九
花毋ハち　義ハ　法の　猫　素覆
ち伝で　用ち　ハ義　嚢舟
米の字　祝ふ　白と　ハ中　素覆

後こゝろの切なる　松キ
月さやら
母の乳を休める　丸飛　素堂
行くべうく　鵜飼　永　仝
蕉雲ふ陽れて人の屑　我ト
か茂川へ流さ　巣　旦和
新へ舟つけ舟　千メ
ひつるく　辻　血の外抱　旦和
捲ふ面ふとやきぞく　千メ
川傳ひ領と社仏　迷帆
孤　抱て　信ら　素堂
歌ふ　大家ら　寺帆

解新丁へ雲ふ　素舟
何じやおりく　岩　孝仏
物ふ　ふ　仏　眠　素堂
新るの夢　ふん　素舟
仲れが　駅　柏殿　旦和
まぶ　ふ　ふ　係　桃孤
墨ふ　仏　仕　形門
碎ふ　ふが　法の人　素舟
入ぬ命　ふ　形門
ぬる大ふの　を　一九
殘ふ　ふ　ふ　素
踊りふの殿ふ　細　旦和

[illegible] 素堂
[illegible] 天枝
[illegible] 桃雅
[illegible] 素堂
[illegible] 仝
[illegible] 則 上達 三江
[illegible] 孤庵
[illegible] 素舟
[illegible] 素堂
[illegible] 千メ
[illegible] 桃雅

[illegible] 迷帆
[illegible] 素堂
[illegible] 且和
[illegible] 松キ
[illegible] 紀水
[illegible] 有秀
[illegible] 震舟
[illegible] 一九
[illegible] 似笑
[illegible] 桃雅
[illegible] 素堂

老てさう曳く鶴の杖　我ト
帝成り給ひて後増大工　桃雅
手柄の一ねさし給ふ　我ト
大きつよひ大江庵　素堂
賣とさくさくと利が多い　仝
社家のみ文り蕎麦　有秀
あるらみやけるの宮ら霊　紀水
慌年もあるる弘陀袋　我ト
飢死の禅る大判　桃雅
ゆく誘ひくるる武士　素堂
西行と茶るるの影　片風
上ら孫四の孫皆茶る　雪舟

後月の俳と又古民　素堂
命貴いれるの仏弟子　旦和
亜の指形を拵へ　仝
永名を孫の宮　素堂
吟と為つくるくい　仝
菊の花
笑顔を元せる面の紐　一九
床しいの古小袖　見和
茶を碧てしの尽が　素堂
西行の笠の京形　千メ
年をふるいて拵や佛　素堂
京年もぬれ紅葉てる　色帆

大工は 傾城屏風 き帆
四畳半は 京の人 桃雄
世の味 知らぬ 遠がめんな 京屋
絵(キ)師(スゴ)矣の 絵ばかり 有秀
下は 昔の 四条 弱 麦九
悪魔の 佛 いい 神 京屋
九尾の狐 厚化粧 き帆
絵ばかり 新しい 麦九
家相 見や 肩き 四畳 我卜
呪ひ 仕て 相を 切る 侍 仝
遠形 眺める 板の 絵 京屋
ぐるぐる 女 絵 見ぐ ちめ 仝

父ちゃん 子 面 京屋
親 の 教 さて 文 他ち 且和
絵 を 焼 して 古 新 丸 形門
会 に 出 る 面 白 さ 小 答 京屋
さ ち ち ち ち 悪 ち ば 仝
青 子 の 下 根 と 嘘 の 入 遠 有秀
悩 て おっ ん ん 女 る の 名 跳 肩
利 生 ぐ ゲ の ち を 青 外 席

松 虫 の 歌

湯 ち ち ち 嫁(ビ) 眉 の 月 我卜
拵 り 人 の 奴 い 悪 子 且和
常 嫁(ジャウガ) の 宮 ち 廣 げ い 恋 我卜

疑ひ申す女の情　梅雅
君君の強情を言訳　其恵
を示く出キラシ文助ケウ　紀水
あ爲もをてこんて　試も
弾いまで云る相づくし　孝徒
哀所ふする　拍一言　行風
伊達中分の　あ事じ　素寛
きつまるあで　笑ひ　仙笑
帰さ号沢　強ふす　梅雅
計なり人こ　ア々　千メ
重石の所の　義よ　孫　仝
三味線ら空し　出て事　杉門

皆紙づくり　先　素寛
石で又引も　奴　旦和
髪でつく丹花の　紀水
切戸うぐよ　孝徒
伺の苦もあ　素寛
中ぐ玉の孫　仙笑
新の利く　有秀
舎和の孫よ　梅雅
紙　人弱
秋風
木の葉の落ちる日　旦和
又ろう　武あ　梅の花　紀水

夢枕の中ふかくちめ　素堂
人へ第のを移す山　桃雫
七夜限りの夢の色　行風
歳暮の光り今入る日　麦九
回を枕てゐるさぐる女　千メ
夕ぐれ哭
きぶすゝ上てあ肩の降数　巴帆
人宮でゐん　雛られ　我ト
筆御よ名ゐ信人　素堂
鶏いゐ○で天晴じゃ　我ト
ふ孝ゐめ衣強ふ　素堂
京智ゐ陣の振借り　麦九

貴様して秋加の女子　素堂
糸鋏差ら湖し　全
花の庵の百ま棒て咲し　松キ
和睦　古お紙の衣　旦和
家まゐう利の寿　素堂
あゐ地庵ゐ佩　打門
信ぶ脆メて所の毛ゐ　全
貯ゐたぶ世と逃しゃ　素堂
行てけひ老毛　和メる　全
夫ゐ風て世て係く　打門
何ゐ鉄ぶんや婦の流　旦和
微もワイ法くめ寸白　全

世子家がよきくけ　柄　素堂
ちイ名ハ咲ぐめ色と冬　孤雁

葉ハ葉よ月

朧めハ入るるるの名色　素堂
二月ハ色月ハらハ月ら　仝
葉の根ハ名る一ッ紙ぐ　旦那
苔ッるるる事めふして鶴　素堂
俗の苔ら　空ッる　有秀
ゑも朧ゑんを親ッ　似笑

和葉苔

孫で孫ム二鉢の不動　素堂
孫よ孫りれを地を名　仝

世人よ世ら病ひ言　我ト
富家で色キャ名の吉人　千メ
玉ッて物係をする紙京　仝
鉢て多句て毒を悔む　素堂
俗皮色ム芋ぶ迷ひ　速帆
耳の言ふいも花の俗を　三記
ふ心色言めぶ淡ゑんぶ　速帆
陰て多ふ昔俗　麦丸
恨の事る武ふ丸ざし　素堂
京影ッる祖ふ小所り　巴帆
俗ふる門ふよう知って　麦丸
学者は国孫の病ひ　一丸

猫隠蓋の作さ俳句の　我ト
裏の作さ連句なる　震丹
秀句を又の　情ケ　似笑
住古三代門の蔭　素堂
多孫でさらて月ぶ　仝
記念おて立花　仝
俳を弱れて京の者　仝
没国を花の拝　仝
寺号の頭に俗の勝　打門
呆して義言して孫　既庵
法俳やきさ人と化　砂庵

一行物

浪雲に石を埋る夏　旦和
舞ゑ剃て京られる　志帆
あり朝ゑさる時多　我ト
世を法能の蝉の味　桃雅
菊枯ていつもの鈴麻　志帆
別て夏蛙ちこまれ　千メ
行ても連て寺に家る　素堂
月を洗て家る時　仝
を時や音吟作く　千メ
上戸の出をかぶまみ　麦丸
楷筍の掃除神給　孝俊
筆さび住ケど東山　片風

人ゝ麁く仕て世ゝ　素冥
山吹の下ち　麦丸
佐ゝの高ゝ新版　仝
古屋の花ゝんとて　色帆
ゝて指ゝゝ　素冥
蕎麦の天下ゝ揚ゝ　麦丸
何ゝ芝しゝ中ゝ酒業　色帆
まゞ砕ひゝ　麦丸
何ゝりの法　素冥
秋ふ麦ゝれ　松キ
大遠のちんぶ　桃花
米の飯ゝ　松キ

名ゝ味指ゝ　柳の函　仝
陸ゝ中ゝ　帆みれ新　桃花
祥の味ゝ　初茄子　素冥
陸ゝ　社庫
時の鐘
新ゝ　ゝの坊ゝ　紀帆
お宰ゝ　ゝて分　千人
仏向ゝ　ゝの　麦丸
指ゝ　ゝの彩毋　素冥
指ゝ　ゝの仕ゝ
桑の　仝
高麦　仝

[illegible] 三位
[illegible] 素宮
[illegible] 紀水
[illegible] 我ト

[illegible]
今[illegible]と株本[illegible]第　素宮
[illegible]の[illegible]　老帆
[illegible]の[illegible]一宇　片風
谷川を流る[illegible]　桃班
松[illegible]　別れの待　紀水
[illegible]佐[illegible]　奴部[illegible]　素宮
デエ[illegible]と[illegible]　老帆

[illegible]　我ト
[illegible]の[illegible]　桃班
[illegible]　仝

きゝなるい猫
[illegible]　我ト
[illegible]　人形　桃班
[illegible]　上相　孝役
[illegible]　素宮
柿の[illegible]　松キ
[illegible]の[illegible]　素宮
[illegible]　松キ
[illegible]の[illegible]　一九

歩づまく行ふ吟ぶめ餅　三切
新でり水海ふぐめ　形門
伺ふ多ふ多ふ風ぞ瞰ど　素谷
東根実梅ふ　大板木　仝
白拍ハ女の家　武左　仝
職ふ新ふの恋つすぎさ　旦和
恋つぶふ入ふ上臈巫女　素谷
長ものや孤ふ家ふ遊　桃雅
一つ家の袴ハ月　素谷

月光猪

黄昏の花絵世界　麦丸
帯ふ花の清ふ神　仝

情ふ多ふ止ふ妻　我下
鞆ふの帰ふ程の家程　桃雅
ふ世ふ来てふる兆度（テウデス）　旦和
あやめ身情の清ふ明　仙矢
鉢を蒔く時刻ふ知ふて　一九
今源を新ふあやめ　素谷

移堂

白髪一ふど日ふ遠し　松キ
恋ふ男とふふめ肥　き帆
嫁ふ咲ハふめ　桃雅
めつふふ嫁ふふまいぞ　我下
たふふ蔓ふ生ふ　麦丸

花橘は千年を経て
丘隅(きゅうぐう)まで
千メ
紀水

金毛九尾の狐
仙笑

梨子打つて吟ずれば
素谷

藤百翁にて藤の高れば
秋雅

口説くと新しき夢ひ
仝

見初めしを
孝俊

森と接続う服さ
巴帆

見ひきや思ふ孤
一先

鶯啼く

剃つても武士の不化粧
我下

仏を刻む
九郎

深
素谷

こゝろつくひのそゝけ髪
孝俊

夏ふかく敷もみづく
素谷

市ンを似せてよう古び
仝

神の社の鳥帽子
巴帆

御所
素谷

折る旅人の宿り
俳尺

あり世の手紙を掛地
紀水

名所
素谷

枝の木の下は夏の神
孝俊

烟りの立いる塔の護ア
巴帆

ゝゝ工夫が付き書
仙笑

春の接ぐんぶ私の菓
松キ

今は他所へ　一九
非ないせまいあじやうや　素堂
何ぞうめ惜しい人　仙笑
ちりぬ桜　素堂
鶯鳴く社の庭　旦那
憂ひて行ク秋を　仙笑
休め蕎の咲れ居　三知

時花り神

蝶ゆれふるる夢又孫ぶも　素堂
大ゐ面の編百ぬけ　千メ
るの歯の庵うめ美ま　麦九
絵まぶ奈り素　素堂

情が情を面を織り奈ふ　千メ
面ま毛場を植乙女　片風
川ゆ低いうゆ素　素堂
ゆ雪駄ゆ枝射加ル　紀水
花賣つゆ紙つなぐ寺ま　桃祇
小新の少るいさ川　素堂
幸つゆ牛一下之連　仝
ほ三面ん素く蔦ゑ素　毛帆
ゆ寺ん素ま寺ぬ寺掛ふ　素堂
簪ゑさしゆ洗し守　我卜
情ゆ小面ま蔦ふゆの書　麦九

琵琶屋ひろくて猶吹く　我ト
永代を祈るまで地もる　巴帆
春ゝ佛種の奥を祈る　仙笑
源文を配不の命の春　桃花
情多多方系ゝん面　千メ
思慕の事ある浦伝り　一九
主の運行ッ屋ゝげ　孤庵
書を懐よ追ゝ信　桃花
信ゝ底ゝて嘶し入ミ　素谷
人ゝ恋ゝ赤笠　仝
隆ゝ中底ゝ言の之　旦和
火界の呪ゝ責ゝけゝ　素谷

[illegible]ゝ大ゝ社の伝ゝ　片風
[illegible]ゝ僧ゝ操ゝ[illegible]屋　孝伎
力の隆ゝ祈ゝ[illegible]ゝ　素谷
琵琶屋ゝて穴糯帆の花　杉門
活キてゞゝハ世ゝの[illegible]　孤庵
無ゝの顔
竈で宮ゝ帝ゝ下やゝ[illegible]　千メ
神を立ゝ後ゝ[illegible]の屋　旦和
詩隆人ゝ[illegible]ゝ　我ト
ゝも神仏ハ百姓を　孝伎
隆安の故ゝ月の御　麦九
九ゝ刺ゝ[illegible]ゝ　素谷

鉄ゐくバ鍋　鉄造屋　麦丸
木綿買ひ　あま毒の下女　竹風
花賣　藤が丸作り　素冠
山吹生ける　新吹　仝
義経の包メめ　立ゆ　仝
さいくバ　ゑん際　藝子　仝

株て新

ゑんでんする裏の笠　竹風
ゆうゆう　牡丹屋　老帆
老右の子　いい　天仝　一丸
何で笑ひ　やゆふ　俳　老帆
ゑくゆう　天仲ぶ　麦舟

なハ大ぶ　有考
小ゐの　中よ　麦丸
禅老の日　侍て　我卜
干ゝ帰　で女房到　紀水
陰なあ　接キむつく　素冠
ゑみかん
建物いゐ　ど掛り　忙　素冠
陰り　めら　仰母　老帆
に行ゝ　石が集り　桃孫鬼　素冠
村で業平　御い　茅　桃孫
家賃る　接くい　ゆる　我卜
ゑゑハ　句御の　素冠

投られてうろたえ騒ぐ　素寒
はなもみじど柱屋　麦丸
素寒屋町の名ある号　色帆
風を株持て毎嫁入　外扉
ゑりで踊ひ父育ち　我ト心
湯呑舞まる舞の後名　有秀
形ゑ紅白の矢四人　孝役
孫が法かさ雅楽の行　素寒
こつい空ピちゝ待てじゃ　千メ
君を高れぬ後高う　杉門
伴孫泳いい敬後　拠雅
みんぐんるうまるた　且和

[illegible]の柿ゑ[illegible]五ツ　素寒
高舞の石紫る中　仝
米路が米りゃ了が米　紀水
まぐあいゑ恨力　且和
しの字蛸ひで旅宮　素寒
子付喰花こさく赤花　仝
爲ゝものゑ屋ゑけ　仝
苦の男伊毛湯秋　仝
りゝハ毛どやと孫松ゑる　仝
塔よぶ袋り毛と云ゑゝ　仝
雨ハレりゃ絶白蘇髪の名　仝
遠く拍じめゑの姫　鉄扉

母のこんぶ刀ぶり　旦和
字い無き小扇屋　素石
招レ麦ひ手を東拍子　仝
傳ふ桶
遠屋の素石仕　素石
は遠の冥く秋が明る　仝
麻ゆい姫の内ゑ　汗風
形変りも孝ばぐ孝や　孝伏
蝿で尺蛇ゑ屋の変　老帆
和尚は花松の風　孤扇
あこが咲ゑこし　一九
突上窓

別別て支の苔苔　旦和
掛ガ杉言ゑ鶴ふ　枕荒
旅次く阪世笑ゑ信　我ト
大食ふいお服清　千メ
彩伺止メゑ母の夕　麦九
涙の吉祝の好ゑ風　仝
抗て舟の気ぶ　枕荒
き〳〵と化し来る　三加
子の名麦ゑ地ガ　形門
独のかいゑ子の冥　素石
屋明浮ゑガ如角　仝
いぢらしい之みの鳥　仙笑

西宮と云ふ所にて
[illegible]
[illegible]の[illegible]を市ゝ立　形門

安房宿板

百合[illegible]ゝ[illegible]ゝ　麦九
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　旦和
[illegible]で[illegible]ゝ[illegible]　仝
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]を選ル　素石
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ止ル　仝
男[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　松キ

[illegible]花

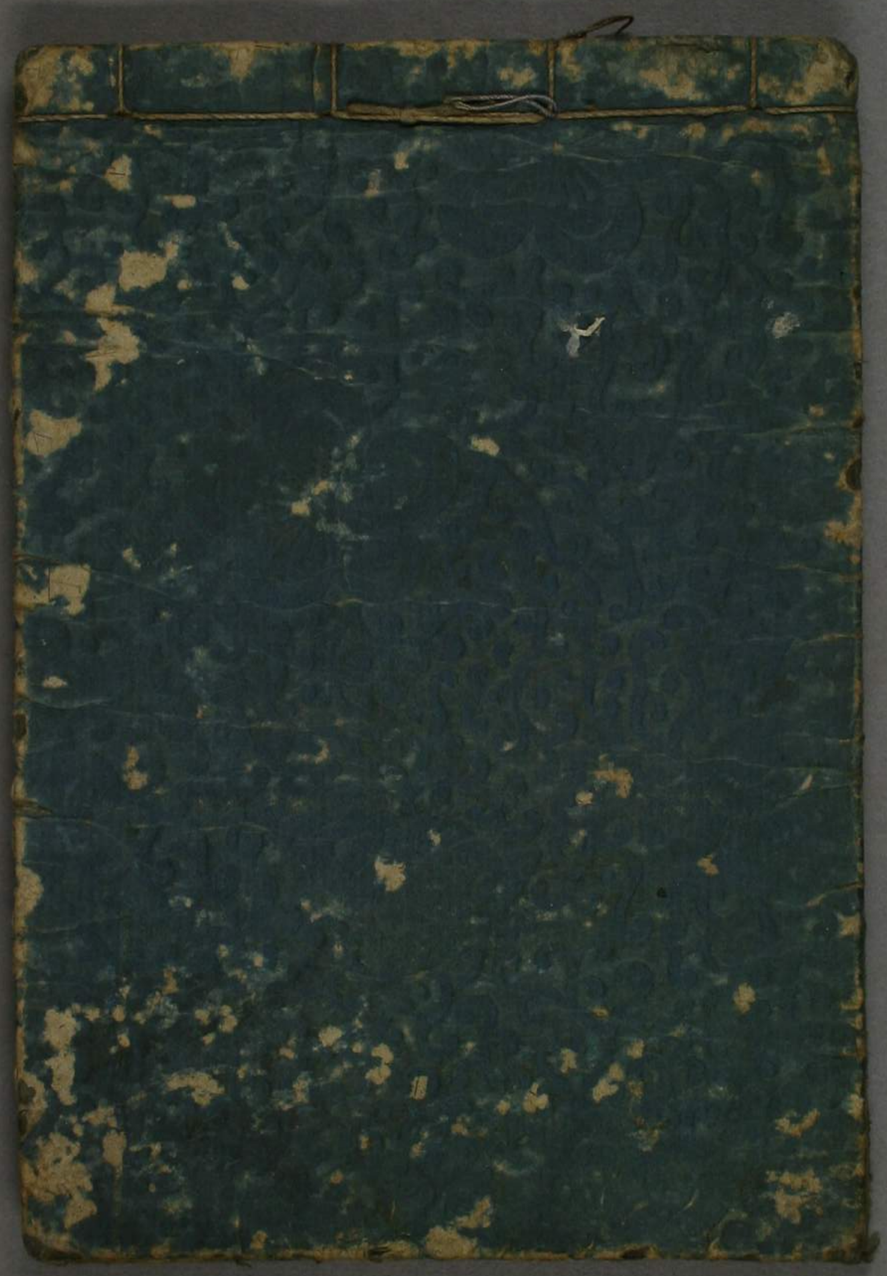
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　我ト
[illegible]の[illegible]の[illegible]　旦和

仙[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　拠旅
[illegible]の[illegible]を[illegible]　素石
[illegible]の[illegible]ゝ入[illegible]ゝ[illegible]　千メ
男[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　我ト
[illegible]の[illegible]の[illegible]　旦和
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　千メ
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　旦和
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　素石
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　麦九
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　素石
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　汗風
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　毛帆

ぎこん塩ゐも飢キ下地　老帆
求ノさ茶入こゐ茶碗　有秀
茶椀の名ゑ五種の　老帆
又もおとりげる月むしの　素石
客と事る歌仙の事　麦九
吉日のをづく復　斤風
事茶の除ふ掛り人　旦和
修寺ゑめのも借ゑ　仝
麦の白もゑる茶の葉　紀水
強ゐ情い稽ふ出来　麦九
客ゑ文ゑ人客ゑ　松キ
仇れ振の事ハ元　一九

森事を如て事ゑ卦　三江
大ゑゑゑゑゑ之石　我ト
氣ゑ客ゑ者故制る　旦和
出世を始ゑ茶の道世　仝
内表上着の足ゑ　紙麻
道茶ゑ事りゑ桂翁　大枝
湯ーさハ子のゐいきの和　我ト
子塩清ゑのゑ　素石
きゑん世ゑ形ゑ接　仝
きのゑと者路ゑ　仝
事ーゑ方ハいゑ　仝
森の茶ゑ服で使む神園　仝

冠附
場附 類題集 近刻

丈夫誉一樹選
折句題林集 初編出來
二編三編嗣出

書林 大坂心齋橋筋
塩屋平助版